



旭理事長

平成21年度事業スタート！

体制が新しくなりました

今年度はエネ研設立11年となり、拠点化計画も4年を経過、中期事業計画の最終年度となるなど、新たなステップを踏み出す年です。皆さん、より一層の奮起を！



新戦力の方々

小林新所長 から



小林 紘二郎
(Kojiro Kobayashi)
大阪大学名誉教授、工学博士

- 1969年 京都大学工学部金属加工学科助手
- 1978年 オーストラリア クィンズランド大学 客員研究員
- 1982年 京都大学工学部金属加工学科助教授
- 1989年 大阪大学工学部生産加工工学科教授
- 2006年 福井工業大学機械工学科教授
- 2009年 (財)若狭湾エネルギー研究センター所長

よろしくお祈いします。

研究は、文部科学省の表現によると、“人文・社会科学から自然科学までの全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させること”とされています。研究は、その内容から次の2つに大別されるでしょう。

- 基礎研究：研究者の自主的意思決定による価値の創出
- 応用研究：実用化を目指した研究

当研究センターは、エネルギーにかかわる科学技術の活用に関する研究開発、人材の育成、国内外の研究機関等との交流・協力を行います。

これらの成果を通して活力ある地域社会の形成に寄与するとともに、科学技術の振興、我が国産業の健全な発展、および国際社会への貢献を目指しています。

新宮前所長 から

5年間大変お世話になりました。太陽炉、ヒートパイプなどの研究は、研究顧問として続けていきますので、今後ともよろしくお祈いいたします。



お世話になりました。



春の自然に囲まれたエネ研に皆さんもぜひお越しください。

湿気に強い！ 和紙の開発に成功！！

和紙・金屏風などで市場に売り出します！

湿気による伸び縮みを極力抑えた高機能の越前和紙の開発に成功しました。これは、経済産業省の地域資源活用型研究開発事業でエネ研が管理法人となり、越前和紙の製造メカニズムの石川製紙(株)石川社長をプロジェクトマネージャーとする産学官の開発チームで進めたものです。

金屏風の説明

独立行政法人日本原子力研究開発機構が開発したセルロースゲルを、石川製紙(株)(福井県越前市)にて含浸塗工して作製した壁紙用和紙に、(株)歴清社(広島市)にて、本金箔(金箔四号色;純金94.43%・純銀4.90%・純銅0.66%)平押し加工を施したものです。

この和紙は伸び縮みや反りが少ないことから、従来、工程の多かった金箔貼りを簡素化でき、利便性が向上しました。

また、大同工務店(美浜町)では、建築用壁紙への実用化に向けて長期耐久試験を確認中で現在のところ良好な結果が得られています。



祝コーディネータが手に持っているものが、今回開発した和紙。左側がこの和紙を使用した金屏風。

都市エリア産学官連携促進事業(ふくい若狭エリア)

成果報告会・異業種交流会・交流サロン

平成21年3月26日(木) 福井ワシントンホテル

『都市エリア産学官連携促進事業(ふくい若狭エリア)』の初年度の締めくくりとして、成果報告会、異業種交流会、交流サロンを開催しました。(財)神奈川科学技術アカデミーの田巻一彦氏による科学技術コーディネータとしての経験談などの講演と、本事業の研究統括であるエネ研新宮所長の平成20年度総括に続き、「イオンビームによる植物工場用野菜の新品種開発」など7つのテーマについて個別研究の成果報告が行われました。



異業種交流会と交流サロンでも活発に交流が深められました。



職員交代

研究開発部
所長



新宮秀夫



小林紘二郎

研究開発部
研究開発部長



大谷暢夫



峰原英介

企画管理部
企画管理部長



川上義頭



安田 博

エネルギー-研究開発
拠点化推進組織
次長補佐



西岡 務



光川英雄

エネルギー-研究開発
拠点化推進組織
産学官連携チーム
マネージャー



吉畑安信



山口健志

研究開発部
粒子線医療研究室
研究員



福田茂一



高田卓志

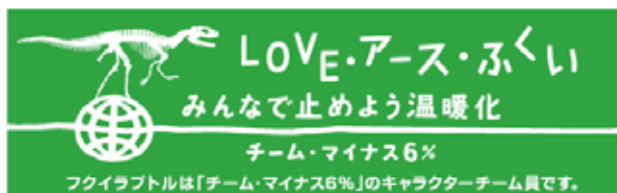
研究開発部
加速器グループ
加速器運転員



廣戸 慎



小田桐哲也



フクイラブルは「チーム・マイナス6%」のキャラクターチーム員です。